

台湾訪問の主な内容

3月9日（土）

① 台湾貿易センター訪問

三重県商工会議所連合会との間で昨年9月に協定を締結した台湾貿易センターの幹部と意見交換を行い、両者の経済交流の促進を図るとともに、三重県経済の優位性等をPRします。

② 台湾ソフトボール協会訪問

台湾女子ソフトボールチームを対象とした東京オリンピックのホストタウンに登録されている熊野市とともに台湾ソフトボール協会を訪問します。熊野市と同協会は、東京オリンピック期間中及びその後の交流促進にかかる協定書に署名することから、署名式に立会います。

③ 台湾教育部訪問

台湾からの訪日教育旅行受入強化のため、台湾教育部の范巽綠（はんそんろく）政務次長と面談し、教育旅行受入に係る三重県の優位性などについて、トップセールスを行います。

④ 台湾日本関係協会及び台湾観光局、台湾観光協会との夕食交流会

台湾の対日窓口機関である台湾日本関係協会主催の夕食交流会に出席し、台湾と三重県の交流状況について意見交換するほか、地方レベルでの交流促進について協力を依頼します。

また、本夕食交流会には台湾観光局や台湾観光協会も同席いただく予定であり、双方向での交流人口増加に向けた意見交換も行います。

3月10日（日）

⑤ 三井アウトレットパーク台中港訪問

昨年12月にグランドオープンした三井アウトレットパーク台中港を訪問し、台湾三井不動産幹部と意見交換を行うとともに、フェアのセレモニーにおいて、三重の魅力発信を行い、三重県への誘客促進につなげます。

⑥ 高級スーパー裕毛屋訪問

台中市にある高級スーパー裕毛屋において開催されている三重県物産展の会場を訪問し、三重県産品の取扱拡大のためのトップセールスを行います。

また、三重県産食材の販売促進及び文化・観光の情報発信等に係る協定を締結するとともに、協定締結を記念したプレゼント抽選会を実施します。

<主な訪問先の人物略歴>

台湾教育部

政務次長 范巽綠（はん そんろく）女性

生年月日 1952年10月3日

出身地 台北市

職歴 高雄市政府顧問
高雄市教育局長



(台北市)

面積：272 km²

人口：2,675,713 人（2018年6月）（台湾第4位）

台北市は、新北市（3,987,520人）（2018年6月）（台湾第1位）とともに、台湾最大の都市圏である台北首都圏を形成しており、台湾における政治経済及び金融の中心地である。

(台中市)

面積：2,215 km²

人口：2,794,933 人（2018年6月）（台湾第2位）

台中市は、2017年7月、高雄市の人口を抜いて、台湾第2の都市となった。人口増の要因は積極的な子育て支援や投資誘致と言われており、工作機械、電子パネル、自転車等、製造業が盛ん。また、「三井アウトレットパーク台中港」が2018年12月に開業。